

インマヌエル中目黒キリスト教会

2009年4月5日

パームサンデーに因み

「ああ、エルサレム」

ルカの福音書19章37-44節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

ルカの福音書 19章 37節- 44節

37 イエスがすでに

オリーブ山のふもとに

近づかれたとき、

弟子たちの群れはみな、

自分たちの見た

すべての力あるわざのことで、

喜んで大声に神を賛美し始め、

38 こう言った。

「祝福あれ。

主の御名によって来られる王に。

天には平和。

栄光は、いと高き所に。」

39 するとパリサイ人のうちの
ある者たちが、
群衆の中から、
イエスに向かって、
「先生。
お弟子たちをしかって
ください。」
と言った。

40 イエスは答えて言われた。

「わたしは、
あなたがたに言います。
もしこの人たちが黙れば、
石が叫びます。」

41 エルサレムに近くなったころ、
都を見られたイエスは、
その都のために泣いて、

42 言われた。

「おまえも、もし、
この日のうちに、
平和のことを知っていたのなら。
しかし今は、
そのことがおまえの目から
隠されている。

43 やがておまえの敵が、
おまえに対して罟を築き、
回りを取り巻き、
四方から攻め寄せ、

44 そしておまえと

その中の子どもたちを
地にたたきつけ、
おまえの中で、
一つの石もほかの石の上に
積まれたままでは残されない日
が、やって来る。
それはおまえが、
神の訪れの時を
知らなかったからだ。」

説教

パームサンデーに因み

「ああ、エルサレム」

ルカの福音書 19章 37節— 44節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「エルサレムに近くなったころ、
都を見られたイエスは、
その都のために泣いて、
言われた。

『おまえも、もし、
この日のうちに、
平和のことを知っていたのなら。
しかし今は、そのことが
おまえの目から隠されて
いる。』」（ルカ**19: 41—42**）

A. 「イエス様」フィーバー

1. エルサレムへの最後の旅

(エリコ→ベタニヤ→

: 地図参照)



2. 最後の道はロバの子で：

謙遜と柔和のメシア

(ゼカリヤ**9:9**)

3. 「ホサナ」の大合唱：

「救って下さい、今」

(詩篇118:25)

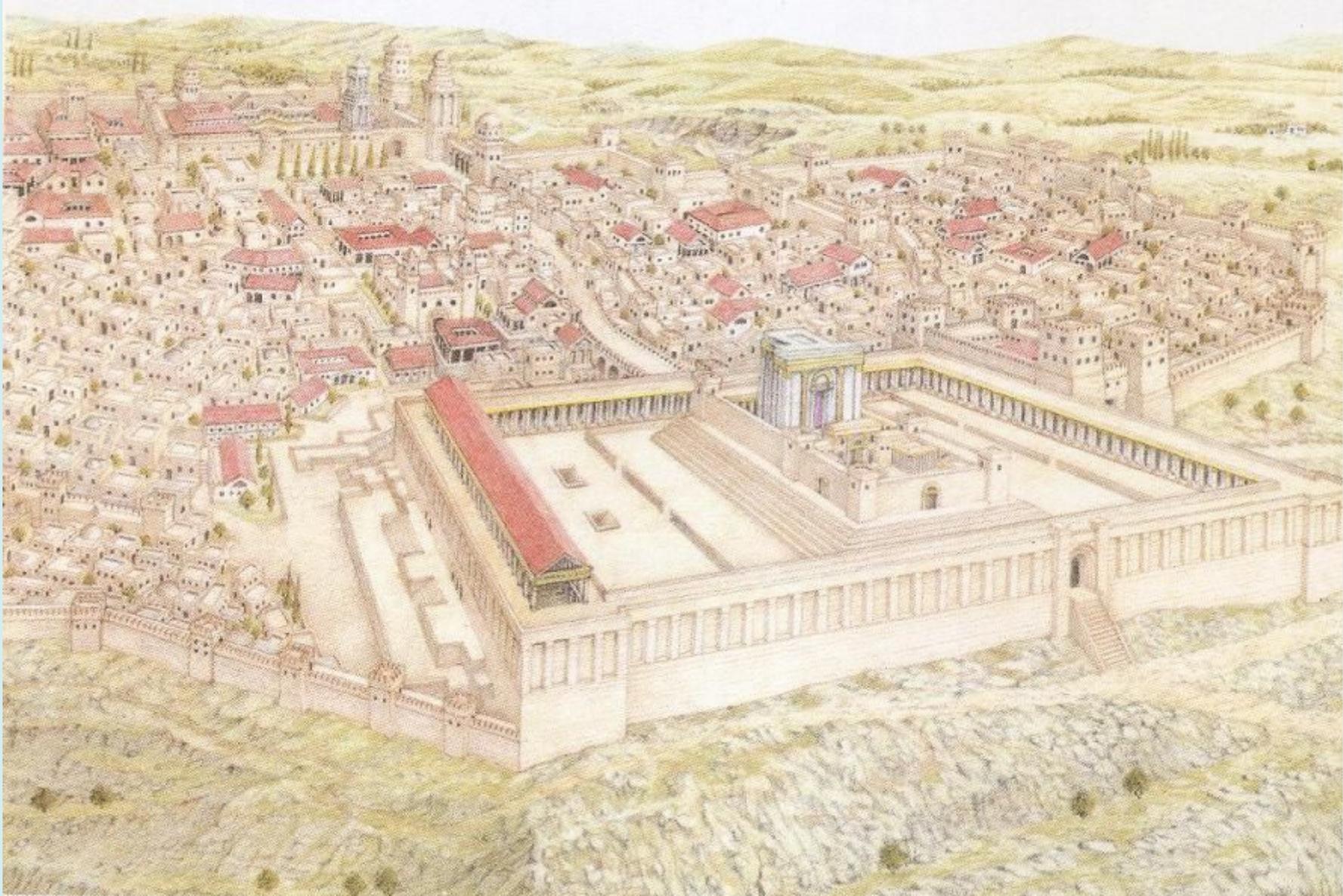
4. フィーバーの背景：

ラザロの復活とバルテマイの癒し

B. 主イエスの嘆き（絵図参照）

1. パリサイ人の
冷えた心に対して：

子供を黙らせたなら、石が叫ぶ！



絵図：エルサレムと神殿

2. エルサレムの滅亡に対して：

**40年後のエルサレム陥落の悲劇を
予言**

3. エルサレムの頑なさに対して (マタイ23：37—39)

①自分を含む預言者たちを殺す

②神の憐れみと愛を無視

4. エルサレムの腐敗に対して

(45—48節)

おわりに

1. 主の憐れみと愛を
「当たり前」と
見過ごさぬように
2. 主イエスへの賛美が
私達のすべてであるように